

ウォークラリー

所要時間：2時間～3時間

1. 活動のねらい

集団における自分を振り返る(協調性)	何事も最後までやり遂げる(継続性)	リーダー性	自分のことは自分でする(自主性)	自分で考えて行動をする(思考活動)	自然に親しみ環境を考える(自然敬愛)
◎		○			◎

2.



交差点や分岐点だけ示されたコース図を使いながら、コース内に設けられた問題を解きながらコースを制限時間内に歩きます。



3. 対象・活動形態

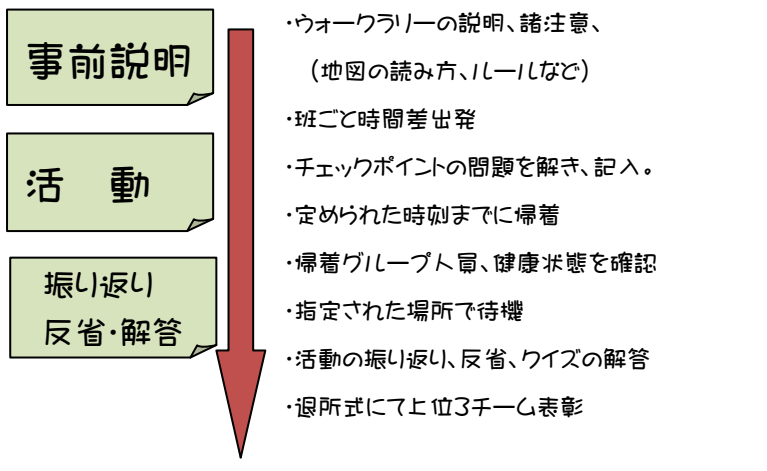
小学生～成人 4～8名程度のグループで上限は15班

* 人数・班数が多い場合、2コースに分けて実施することもあります

4. 主導と責任の所在

指導は職員、生徒・児童管理も職員です	指導は団体、生徒・児童管理も団体です	指導は職員、生徒・児童管理は団体です
		○

5. 活動の流れ(例)



【事前準備・確認事項】
 団体の引率は非常事態に備え、担当職員の指示を受け、コースに3～4名程待機する
 * 待機場所(各場所1名程度)
「錢壺コース」
 ・本館1人(スタート、ゴール地点)
 ・野外炊事場(下)、若者交流棟、展望台
「大將軍山コース」
 ・本館、雲峰神社、道路等

コースを回る所要標準時間…錢壺山コース(目安60分)、大將軍山コース(目安80分)

6. 準備物

【自然の家】…地図、解答用紙、バインダー、鉛筆、採点用紙、無線(トランシーバー)

【団体】…虫よけスプレー、帽子、タオル、水筒

* ウォークラリーを実施する際は、生徒に時計などの時間が分かるものは、児童・生徒に持たせない。

* 軽装は極力控える(虫よけのため、長袖・長ズボンが好ましい)

7. 事前に決めておいて欲しいこと

役名	役割	人数	注意事項
班長	班員をまとめ、リーダーシップを発揮する。	1人	非常事態に備え、引率者の待機場所を把握しておく